

UPモルタル

■下地調整・仕上材 (0.5～2mm)

UPモルタルはコンクリート面、PC板面、ALC面、モルタル面等の補修仕上げを目的とした薄塗りの既調合セメント系フィラー材です。

特長

1. クロス、ペンキ、吹付け、塗装等、広範囲の化粧材を施工する際の下地仕上材として使用できます。
2. 作業性が良く、施工が容易です。
3. 高性能な粉末樹脂を既調合していますので、エマルジョン等の混入ミスがなく、調合にムラがありません。

用途

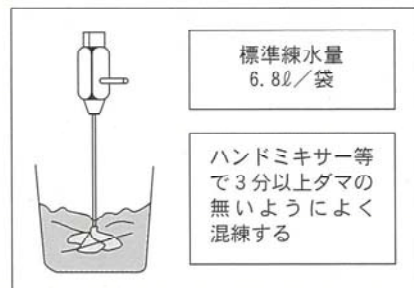
ペンキ下地、クロス下地の素地こしらえ
適応下地：コンクリート、モルタル、PC、ALC

施工方法

1. 下地調整

- 1) 下地にある突起物、レイトンス、硬化不良部分、型枠離型剤などの油脂分は、サンダー、ケレン棒又はワイヤーブラシ等で除去し、水洗いを行って下さい。
- 2) 3mm以上の目違い、ジャンカ、豆板、大きなひび割れ、大きな気泡穴、破損部分は、予めポリマーセメントモルタルにて下地調整・補修を行って下さい。
- 3) 露出した鉄筋、番線、釘等は除去した後、エポキシパテ等で防錆処理をして下さい。
- 4) ユニレックス3の3倍希釈液にて左官刷毛、ローラー等を使用して吸水調整を行って下さい。

2. 材料配分



UPモルタル (20Kg) に水道水約6.8ℓを徐々に加えながら、ハンドミキサー等でまざりムラのないように均一によく練り混ぜて下さい。

3. 塗付け

- 1) 下地のピンホール (気泡穴) 等を、まず拾い塗りして下さい。
- 2) ついで、金ゴテにて下ごすりしながら全面に塗付けて、コテ圧をかけ平滑に仕上げして下さい。
- 3) 刷毛引き仕上げの場合は、ユニレックス3の10倍希釈液にて、仕上げを行って下さい。

4. 養生

- 1) 塗付け後に、降雨雪の恐れがある場合または、通風・日照の激しい時にはシート掛け等の保護養生を行って下さい。
- 2) 夏場施工の際には、UPモルタル塗付け翌日に散水養生を励行して下さい。
- 3) 塗付け後の養生期間は7日以上とし、その後、次の行程に移って下さい。



荷姿

NET 20Kg紙袋 (クラフト紙)

標準施工面積

16㎡/袋 (1mm塗厚)

試験成績表

二瀬窯業株式会社試験室

試験項目	単位	試験結果
軟度変化率	%	-6.3
耐ひび割れ性	—	無し
耐衝撃性	—	無し
吸水量	g	1.40
標準付着力	N/㎡	0.84
低温付着力	N/㎡	0.77

試験方法は、JIS A6916²⁰⁰⁰建築用下地調整塗材 (C-1) に準拠

注意事項

1. 施工前に補修面を十分に水洗・清掃して下さい。
2. 寒冷期、気温が3℃以下及び3℃以下になると予想される場合は、原則として施工は行わないで下さい。
3. 直射日光・風雨時には、シート掛け等十分な養生をして下さい。
4. UPモルタルの保管は、湿気を避ける場所にして下さい。
5. 混練りした材料は、40分以内に使用して下さい。
6. UPモルタル硬化前の雨水等による濡れは、白華の原因になりますので注意して下さい。
7. UPモルタルに当社が指定した物以外、他の材料は混ぜないで下さい。
8. UPモルタルの床への施工は避けて下さい。

⚠ PL法に関しては袋の裏面をよくお読み下さい。

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0605033
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問い合わせ先	http://www.nsk-web.org/



ISO 14001取得企業

このカタログは再生紙を使用しています。



二瀬窯業株式会社

本社・工場 福岡県飯塚市横田669 後牟田工業団地
〒820-0044 tel(0948) 22-0447 fax(0948) 29-0289

東京営業所 東京都港区芝2-27-8 マスマンビル 2F
〒105-0014 tel(03)6453-6685 fax(03)6453-6686

名古屋営業所 愛知県清須市西枇杷島町弁天45 ヤマモリビル1F
〒452-0006 tel(052) 509-2485 fax(052) 509-2486

大阪営業所 大阪市港区市岡元町2-8-18 ワールドビル2F
〒552-0002 tel(06) 6583-3310 fax(06) 6583-3325

関東工場 千葉県木更津市新港15-8
〒292-0836 tel(0438) 30-7372 fax(0438) 30-7472